

# 高井戸中学校 アンネ・フランクのバラ ～咲かせ続ける平和の願い～



杉並区立高井戸中学校の校庭に、第二次世界大戦時にナチスの強制収容所で15歳で命を落としたユダヤ人の少女、アンネ・フランクゆかりのバラがある。「アンネのバラ」の愛称で知られるこのバラは、国語の授業で『アンネの日記』を読み、彼女の生涯を学んだ生徒たちの願いに応じて、1976年(昭和51年)にアンネの父・オットー氏から寄贈されたもの。以来、平和を願う高井戸中学校のシンボルとなっている。スイスから来た3本の「アンネのバラ」の苗が校庭に根付き、現在のバラ園になるまでには、「平和のバラを枯らしてはならない」という多くの人々の努力があった。バラの歴史を振り返り、現在と未来に向けた取り組みを紹介する。

## アンネ・フランクと『アンネの日記』



アンネ・フランク(1929～1945)は、ドイツ・フランクフルト市で生まれたドイツ系ユダヤ人家庭の二女。第二次世界大戦中にナチスの迫害から逃れてオランダで隠れ家生活を送ったが、1944年(昭和19年)に密告によりナチスに連行され、その翌年、ベルゲン＝ベルゼンの強制収容所でチフスのため亡くなった。

1942年(昭和17年)6月12日から1944年(昭和19年)8月1日まで綴られた『アンネの日記』は、戦後、父オットー・フランク(1889～1980)により出版され、世界各国でベストセラーになった。ナチスの人種差別政策下、隠れ家で青春時代を過ごしながらも将来への希望を失わなかったアンネの生涯は、この書により多くの人々の記憶に残ることになる。2009年(平成21年)にはユネスコの世界記憶遺産にも登録された。日本でも1952年(昭和27年)に文藝春秋新社から最初の翻訳版が紹介されて以来、人々に読み継がれている。(写真:高井戸中の生徒が描いたアンネ・フランクのイラスト)

## アンネのバラとは

正式名称は、フランス語で「Souvenir d' Anne Frank」。1955年(昭和30年)にベルギーの園芸家ヒッポリテ・デルフォルヘ氏によって作出され、1960年(昭和35年)に発表されたバラ。日本語では「アンネ・フランクの形見のバラ」と訳されている。アンネの日記に感銘を受けたデルフォルヘ氏が、1959年(昭和34年)にオットー・フランク氏と出会い、アンネの生涯を記念するために彼に捧げたもの。スイス・バーゼルにあったオットー氏の自宅の庭に植えられていた。房咲きに花をつけるフロリバンダ種で、真紅の蕾からオレンジ、黄色、ピンクへと咲きながら色を変える四季咲きのバラだ。



## 日本におけるアンネのバラ栽培の歴史

日本に初めてアンネのバラが贈られたのは1972年(昭和47年)。その前年、聖イエス会の「しのめ合唱団」に所属していた大槻道子さんが、公演先のイスラエルで偶然オットー氏と出会ったことをきっかけに10株の苗が送られ、その中から1株だけが根付いて大槻さんの家の庭に咲いた。1976年(昭和51年)に高井戸中学校へ送られた苗は、オットー氏から日本への2回目の寄贈分。以後、アンネのバラは株分けされて全国に広がり、主に教会や学校で平和のシンボルとして育てられている。兵庫県西宮市には聖イエス会の「アンネのバラの教会」がある。

## 杉並区とアンネのバラ



高井戸中学校で育てられたアンネのバラは、東原中学校など区内の小中学校をはじめ、全国の学校に株分けされている。2006年(平成18年)、区立読書の森公園が開園した際には、平和事業の一環として園内の花壇にアンネのバラが記念植樹された。杉並区が発行した平和に関するポスターにも、たびたび写真が使用され、2012年(平成24年)には杉並区区政80周年記念切手の図案になるなど、平和と人権尊重を願う杉並区のシンボルとなっている。

## 高井戸中学校アンネのバラ略年表

1974年(昭和49年)	高井戸中学校の生徒が、国語授業でアンネに寄せる手紙を書く。「アンネ・フランクに寄せる手紙編集委員会」発足。
1975年(昭和50年)	文集『暗い炎の後に』完成。オットー・フランク氏に文集を送る。文集『生きている戦争』完成。生徒からアンネのバラを学校に植えたいという希望が出る。
1976年(昭和51年)	高井戸中学校の校庭に最初の3株が植えられる。
1978年(昭和53年)	文集『アンネのバラよ いつまでも』完成。
1980年(昭和55年)	四国の園芸家・相原嘉寿雄氏から増株のバラが高井戸中に20株寄贈される。

高井戸中学校	1982年(昭和57年)	小学館より『アンネのバラよ いつまでも(小林桂三郎・編)』発刊
アンネのバラ略年表	1997年(平成9年)	新校舎落成。アンネのバラの花壇とモニュメントが設置される。
	2004年(平成16年)	地域の協力組織「アンネのバラ栽培委員会(現・アンネのバラサポーターズ)」発足 生徒の自主組織「アンネのバラ委員会」発足
	2005年(平成17年)	生徒が広島と韓国を訪問・交流。
	2006年(平成18年)	「アンネのバラ委員会」が活動記録を冊子にまとめる。
	2013年(平成25年)	創立65周年記念リーフレット『アンネのバラと高井戸中学校のあゆみ』発行

## 参考文献

- 『アンネの日記 完全版』 アンネ・フランク・著 深町眞理子・訳(文春文庫)
- 『アンネの日記』 アンネ・フランク・著 皆藤幸蔵・訳(文芸春秋)
- 『中学校・現代国語2』 文部省検定教科書(三省堂)
- 『アンネのバラよ いつまでも』 小林桂三郎・編(小学館)
- 『アンネ・フランクのバラ—アンネの意志を受け継いだ人びと』 高橋数樹・編(出版文化社)
- 『アンネ・フランクの形見—オットー・フランク氏との往復書簡』 大槻道子・著(ロゴス社)
- 『アンネのバラ委員会 活動記録』 杉並区立高井戸中学校・発行
- 『創立65周年記念 アンネのバラと高井戸中学校のあゆみ』 杉並区立高井戸中学校・発行
- 「杉並区立高井戸中学校 アンネのバラ年表」 小林桂三郎、小林公広・作成
- ユネスコ世界記憶遺産(Memory of the World)ホームページ